

如来院の御詠歌

松 濤 基 作 曲
菊 地 謙 雄 振 付

要 領		1. 左右両生の舞であるが、ほとんど同じ動作 2. 左掌の上に鉦、右手に撞木をもつ 3. 舞台左右両端に向い合って立つ 4. 出場する時、左掌の上に鉦を、右掌を左掌の下に重ね両掌の親指と鉦の間に撞木を挟み、合掌して定位置に出る 5. 舞台の定位置に向い合って立ち、座り右手で撞木を取って右膝前に縦に置く 次に両手で鉦をささげて膝前中央に置く 両手合掌礼をして膝に置く	
唱え奉る		合掌	
如来院の		両手で鉦を取り左掌の上に乗せ胸前に捧げ 右手で撞木を取り撞頭を前に並べて胸前に頂く	
御詠歌に		立つ	
繰り返し 2 回唱えて殆ど同じ動作であるが両生初回向い合い 2 回目正面向きで舞う この舞は終始鉦を打つ度に首をうなづく様におとし膝を屈伸して調子をとる			
歌	呼間	舞	
みと	四呼間	右足右斜め前に腰を落として踏み出し体前で鉦一打 腰を伸ばしつつ左足を右足に揃えると共に左鉦は頂き右撞木は右に回しあげ上に立てる	
くち			
とー		次に同じ動作 左足左斜前に出し一打し右足を左足に揃えると共に左鉦を左上に捧げる	
ー(休)			
こー	四呼間	両方前方中心に向って右足から三歩 鉦を打ちつつ近寄り四呼目に膝を屈伸し左足を揃え一打する	
ろの			
ほか		(一歩毎に鉦を打ちつつ首を落とすようにうなづき膝を曲げ調子を取りつつ近寄る)	
の(休)			

		歌	呼間	舞
●	⊗	み 	四呼間	向い合っている両生同じ動作 右足右横に踏み出し(一呼) 更に左足をその前から腰を落として踵をあげ右一回転して元の前向きとなる その時両手足の一回転に合わせて両体側から上に廻し体前で鉦を一打する 同時に腰を屈伸 首を下にうなずく
	⊗	イ 		
	⊗	 		
●	⊗	だ 	四呼間	今と同様に左に繰り返す 即ち左足を左横に踏み出し右足をその前から腰をおとしてグルッと左一回転し両掌横から上に廻して体前で一打し膝屈伸して首をうなずく
		な 		
	⊗	れ 		
●	⊗	ば 	四呼間	両生右足一步踏み出し、両手を開いて更に左足一步出して右足に揃え、腰を落として一打する(両生向い合っている)
	⊗	 		
		(2拍休)		
●	○	わ	八	両生右足から右一回転七歩で両生向い合いとなり八呼目左足を右足に揃えて止まる
●	×	れ を		(両生一呼ごとに首をうなずくようにして足で調子を取りつつ鉦を打つ)
●	○	は な		両生向い合って止まる
●	×	れ て		

		歌	呼間	舞
●	⊗	と ー	呼間	即ち「われをはなれてとオーオー」(八呼間)で右足から七歩。一呼ごとに首を前にまげ落とし、鉦を打って調子を取り一回転して八呼目に両足を揃える
●		オ ー		
●	⊗	オ ー		
●	⊗	ー (休)		
		な ー	四呼間	両足右足から内廻り両手両側下から頭上に回し上げつつ舞台の後方(仏前)にスリ足二呼足を揃え止って膝屈伸高く一打する(中央で)
	×	ア ー		
●		え ー		
	×	こ そ		
	○	す ー	八呼間	両側内廻り 右足から正面に向って
	×	ー		両手両側下から捧げつつスリ足(二呼)
		ー		止って膝屈伸低く一打する(二呼)
●	○	ウ		
	×	ウ ー		
	○	れ		両生右足一歩出して右立膝となり
	×	ー		
	⊗	ー		両手両側から捧げ頭を下げる (舞台正面に向って立膝)
		(2拍休)		

お唱え繰り返す(二回目)

みと				舞			
くち	四呼間	両生揃って正面向きとなり、	●	わ	八呼間	前と同じ動作	
と		立ち前と同じ動作		れ		両生揃って鉦を打ちながら	
―				をは		右一廻り正面向きで止る	
(休)				な			
ここ	四呼間	両生正面向き		れて			
ろの		前と同じ動作		と			
ほか				オ			
の				オ			
(休)				―			
み	四呼間	両生同じ動作		(休)	四呼間	内廻り 後方仏前にスリ足	
―		(右一回転)		な		止まって顔前高く一打	
―				ア			
イ				え			
―		こそ					
だ	四呼間	両生左一回転		す		八呼間	前と同様
―		同じ動作		―			右足から内廻り正面へすり足
な			ウ	二呼進み止まって膝屈伸			
れ			ウ	一打更に			
ば	四呼間	前と同じ動作	れ	両生右足一步出して立膝			
―			―		となり両手体前に捧げ礼を		
―			―		する		
2拍休			―				
				2拍休			

終って正座し撞木を右膝前に縦に置き両手で鉦を膝前の真中に置く 合掌し一礼
 両手で鉦を取り左鉦の上にのせ右手で撞木を取って左右両掌を重ねて両親指と鉦の
 間に挟み立って退場する

ポイント注意

このお舞いは、鉦の打ち方がポイントです。うなずく様に首を上下に動かし、調子をとりながら打って舞います。

〔撞木と鉦の置き方〕 撞木の房を伸ばす様にして後ろから右膝の前に置きます。そして両膝の中央に鉦を置きます。